

学部学科適性試験

実施学部	総合人間科学部
実施学科	社会福祉学科
試験時間	75分
試験概要	社会および社会福祉に関する理解力と思考力を問う試験

(この問題冊子は4ページ、2問である。)

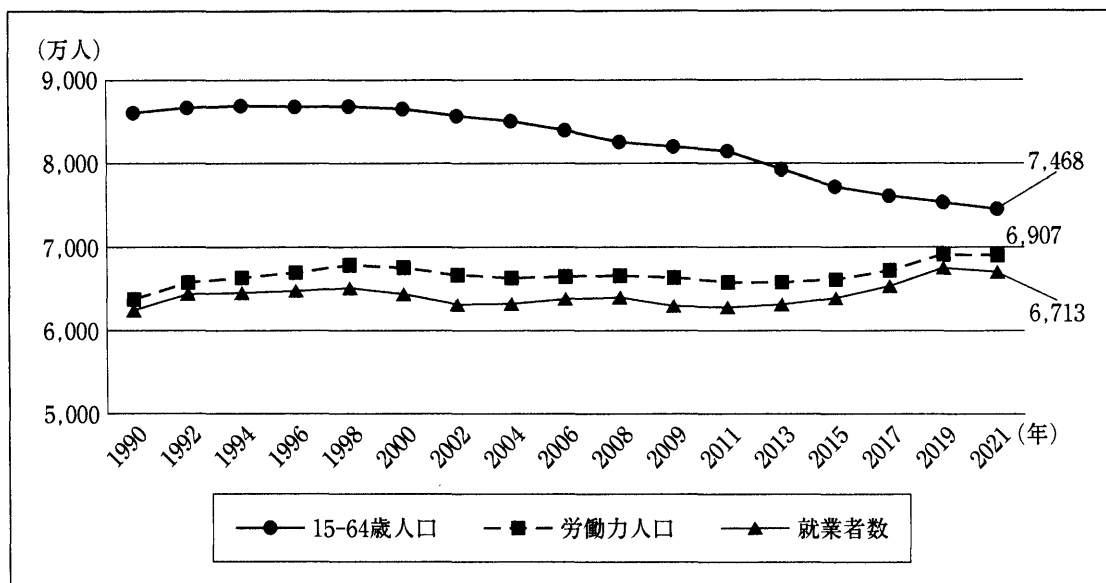
受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙1ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し、所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。
5. マーク式の解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 記述式の解答は、各解答欄にていねいに記入すること。数字、ローマ字については、1マスに2字とする。
8. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消したうえで、消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
10. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

2 以下の問いに答えなさい。

問1 図1は日本における労働力人口および就業者数、図2は就業率の推移を示したものである。2つの図から読み取れることを説明したうえで、15-64歳人口(生産年齢人口)の減少が日本の社会・経済にもたらす問題を複数あげ、その対応策として行われていることについて述べなさい。字数はすべて合わせて500字以上600字以内とする。

図1 労働力人口・就業者数の推移

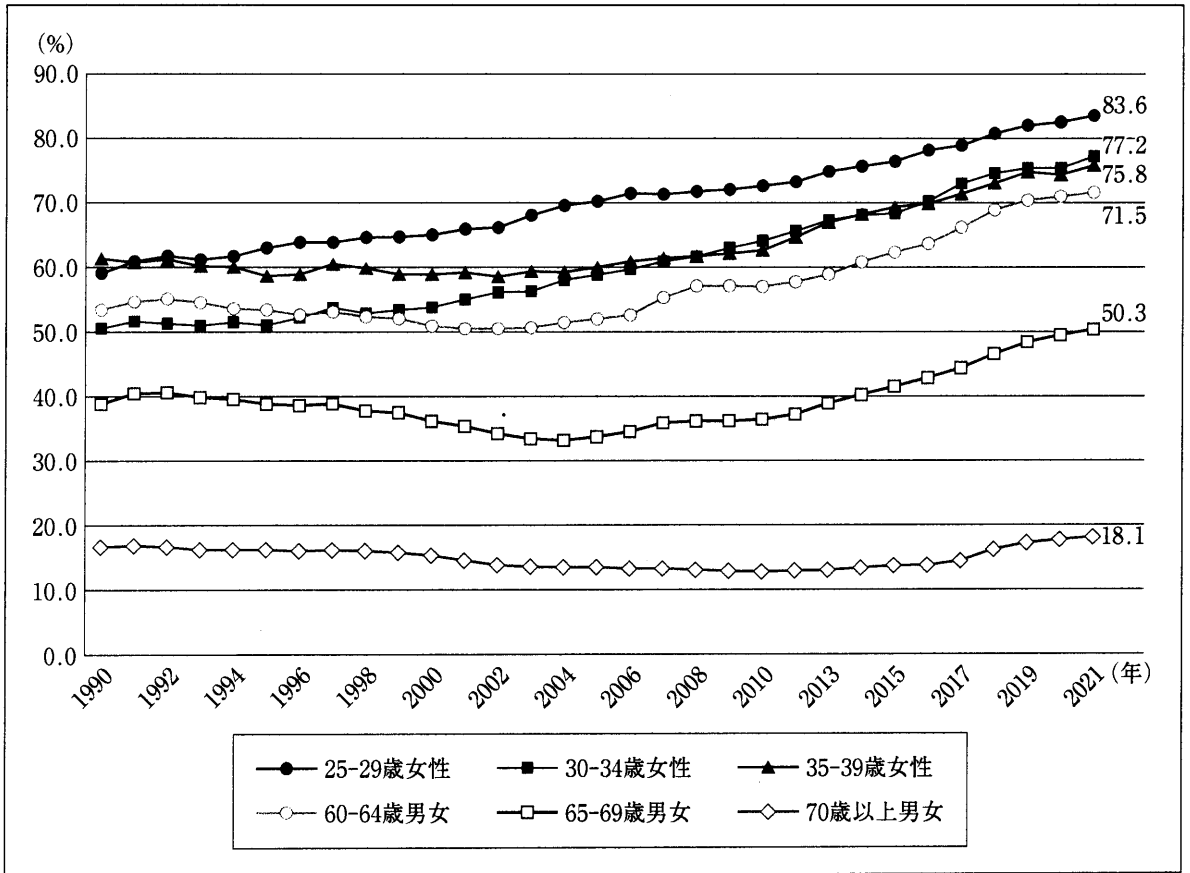


資料：総務省統計局「労働力調査(基本集計)(令和3年)平均結果」より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

(注) 2022年3月4日に公表されたベンチマーク人口の新基準に基づいて遡及集計した数値を用いている。

出典：令和4(2022)年版厚生労働白書p.3「図表1-1-1」

図2 就業率の推移



資料：総務省統計局「労働力調査(基本集計)(令和3年平均結果)より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成。

(注) 2022年3月4日に公表されたベンチマーク人口の新基準に基づいて遡及集計した数値を用いている。

出典：令和4(2022)年版厚生労働白書p.4「図表1-1-2」